

肺癌とCTとビートルズ



みなさんは健康診断を受けていますか？

肺の病気を見つけるのに役立つのが胸部レントゲンによる検診です。肺癌のように命をおびやかす病気から自分を助けるだけでなく、結核のように他人にうつってしまう病気から周りの人を守る目的もあります。市や職場から健康診断の案内が来たら忘れずに受けるようにしてください。

日本人の死因の第1位はがんです。がんの中では肺癌がトップです。肺癌はかなり進行するまで症状が出にくく、検診を受けていないと発見が遅れてしまいます。



肺癌の治療は、手術・抗がん薬・放射線治療とも年々進歩していますが、それでも進行してしまった肺癌は治しにくいのが現実です。また、初期の肺癌なら、胸腔鏡(きょうくうきょう)という細長いカメラで胸の中をテレビ画面にうつしながら小さい傷で手術することもできます。体への負担を小さく、確実に肺癌を治すためには、早く見つけることが大切なのです。



ヘリカルCTによる撮影

レントゲンでの検診でも肺癌の早期発見に役立つのですが、より早く見つけられる方法のひとつにCT検査があります。CTはレントゲンを体の周囲全体からあてて体内を精密に写すことができます。レントゲン検診よりCT検診の方が喫煙者の肺癌死亡数を減らせるという研究結果が、2011年にアメリカから発表されました。また、タバコを吸わない人でも肺癌になることがあります。この癌の影は淡くてレントゲンには写らないこともあります。CTなら淡い影の肺癌でも発見することができます。

ところで、CTはビートルズが所属していたレコード会社であるEMIで発明されました。ビートルズの驚異的な売り上げがCTの開発資金になったともいわれています。ビートルズって偉大ですね。

桐生厚生総合病院では人間ドックや肺がんドックとしてCT検診を行っています。
健診係までお問い合わせください。

■お問い合わせ先■

桐生厚生総合病院 医事課健診係 : TEL 0277-44-7160 FAX 0277-44-7170

【呼吸器外科診療部長 大谷 真一】

